【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-218998(P2003-218998A)
【公開日】平成15年7月31日(2003.7.31)
【出願番号】特願2002-10570(P2002-10570)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｍ　1/00
　Ｇ０６Ｆ　3/00
　Ｇ０６Ｆ　15/02
　Ｈ０４Ｍ　1/02
　Ｈ０４Ｍ　1/73
　Ｈ０４Ｑ　7/14
　Ｈ０４Ｑ　7/32
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｍ　1/00　　Ｗ
　Ｇ０６Ｆ　3/00　　６５１Ａ
　Ｇ０６Ｆ　15/02　　３０１Ｅ
　Ｇ０６Ｆ　15/02　　３１５Ｄ
　Ｇ０６Ｆ　15/02　　３４５Ｆ
　Ｈ０４Ｍ　1/02　　Ａ
　Ｈ０４Ｍ　1/02　　Ｃ
　Ｈ０４Ｍ　1/73
　Ｈ０４Ｂ　7/26　　Ｖ
　Ｈ０４Ｂ　7/26　　１０３Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月12日(2005.1.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】情報端末機器
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　第１の筐体と第２の筐体とが接続機構で互いに折り畳み可能な折り畳み構造を持つ情報端末機器において、
　前記折り畳み構造が閉じている状態では外部から見えなくなる位置にある第１の表示器と、
　前記折り畳み構造が閉じている状態でも外部から見える位置にある第２の表示器と、
　複数のメディアデータを含むマルチメディア情報を再生する再生手段と、
　この再生手段によるマルチメディア情報の再生中に、前記折り畳み構造が開いているか閉じているかを判定する開閉判定手段と、

この開閉判定手段の判定結果に基づいて、前記折り畳み構造が開いている状態では前記再生されたマルチメディア情報の複数のメディアデータを前記第１の表示器に表示させ、一方前記折り畳み構造が閉じている状態では前記再生されたマルチメディア情報の一部のメディアデータを選択して前記第２の表示器に表示させる表示制御手段と
を具備することを特徴とする情報端末機器。
【請求項２】
第１の筐体と第２の筐体とが接続機構で互いに折り畳み可能な折り畳み構造を持つ情報端末機器において、
前記折り畳み構造が閉じている状態では外部から見えなくなる位置にある第１の表示器と、
前記折り畳み構造が閉じている状態でも外部から見える位置にある第２の表示器と、
通信ネットワークとの間で通信を行う通信手段と、
この通信手段により受信されるか或いは記憶手段から読み出された、複数のメディアデータを含むマルチメディア情報を再生する再生手段と、
前記折り畳み構造が開いているか閉じているかを判定する開閉判定手段と、
前記再生手段によるマルチメディア情報の再生中において、前記開閉判定手段により前記折り畳み構造が開いていると判定された状態では、前記再生されたマルチメディア情報の複数のメディアデータを前記第１の表示器に表示させ、一方前記開閉判定手段により前記折り畳み構造が閉じていると判定された状態では、前記再生されたマルチメディア情報の一部のメディアデータを選択して前記第２の表示器に表示させる表示制御手段と
を具備することを特徴とする情報端末機器。
【請求項３】
前記表示制御手段は、前記マルチメディア情報の再生中でかつ前記折り畳み構造が開いている状態において、前記第２の表示器に移動通信動作に関係する通信属性情報を表示させることを特徴とする請求項２記載の情報端末機器。
【請求項４】
前記表示制御手段は、前記マルチメディア情報の再生中に前記折り畳み構造が閉じられた場合に、前記第２の表示器における表示情報を前記通信属性情報から前記選択されたメディアデータに切り替えると共に前記通信属性情報の種別をメモリに保存し、前記折り畳み構造が開かれた場合に、前記メモリに保存されている種別に応じて、前記第２の表示器における表示情報を前記選択されたメディアデータから前記通信属性情報に復帰させることを特徴とする請求項３記載の情報端末機器。
【請求項５】
前記表示制御手段は、前記マルチメディア情報の再生中でかつ前記折り畳み構造が閉じている状態において、前記選択されたメディアデータと、移動通信動作に関係する通信属性情報とを、前記第２の表示器にその表示エリアを分割してそれぞれ表示させることを特徴とする請求項２記載の情報端末機器。
【請求項６】
前記表示制御手段は、前記マルチメディア情報の再生中でかつ前記折り畳み構造が閉じている状態において、前記第２の表示器に前記選択されたメディアデータを表示しながらユーザによる表示切り替え指示の入力を監視し、表示切り替え指示が入力された場合に前記第２の表示器における表示情報を前記選択されたメディアデータから移動通信動作に関係する通信属性情報に一時的に切り替えることを特徴とする請求項２記載の情報端末機器。
【請求項７】
前記表示制御手段は、前記第２の表示器に前記選択されたメディアデータを表示している状態で当該メディアデータの再生終了を監視し、メディアデータの再生が終了した場合に前記第２の表示器における表示情報を移動通信動作に関係する通信属性情報に復帰させることを特徴とする請求項２記載の情報端末機器。
【請求項８】

前記表示制御手段は、前記選択されたメディアデータを前記第１の表示器に対応する第１の表示フォーマットから前記第２の表示器に対応する第２の表示フォーマットに変換する変換手段を備え、前記折り畳み構造が閉じている状態では前記変換手段により第２の表示フォーマットに変換されたメディアデータを前記第２の表示器に表示させることを特徴とする請求項２記載の情報端末機器。
【請求項９】
前記変換手段は、前記第２の表示器が第１の表示器より表示エリアサイズが小さい場合に、前記選択されたメディアデータのサイズを、前記第２の表示器の表示エリアサイズに対応するサイズに縮小処理することを特徴とする請求項８記載の情報端末機器。
【請求項１０】
前記変換手段は、前記第２の表示器の表示色が第１の表示器と表示色と異なる場合に、前記メディアデータを前記第２の表示器の表示色に対応する形態に変換することを特徴とする請求項８記載の情報端末機器。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
この発明は、携帯電話機等の移動通信端末、ノート型のパーソナル・コンピュータや携帯情報端末（ＰＤＡ：Personal Digital Assistants）等の情報端末機器に係わり、特にメインディスプレイの他にサブディスプレイを備えた情報端末機器に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
この発明は上記事情に着目してなされたもので、その目的とするところは、筐体開閉型の端末においてマルチメディア情報を再生する際の、消費電力の低減及び携帯性の向上を図った情報端末機器を提供することにある。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するためにこの発明は、第１の筐体と第２の筐体とが接続機構で互いに折り畳み可能な折り畳み構造を持ち、上記折り畳み構造が閉じている状態では外部から見えなくなる位置にある第１の表示器と、上記折り畳み構造が閉じている状態でも外部から見える位置にある第２の表示器とを有する情報端末機器にあって、複数のメディアデータを含むマルチメディア情報を再生する再生手段と、この再生手段によるマルチメディア情報の再生中に、上記折り畳み構造が開いているか閉じているかを判定する開閉判定手段と、表示制御手段とを備える。そして、上記開閉判定手段の判定結果に基づいて、折り畳み構造が開いている状態では、再生されたマルチメディア情報の複数のメディアデータを第１の表示器に表示させ、一方折り畳み構造が閉じている状態では、再生されたマルチメディア情報の一部のメディアデータを選択して第２の表示器に表示させるように制御したものである。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
したがってこの発明によれば、マルチメディア情報の再生中に折り畳み構造を閉じると、外部から見える位置にある第２の表示器に、マルチメディア情報を構成する複数のメディアデータのうちの一部のメディアデータが選択されて表示される。このため、折り畳み構造を閉じた状態で必要なメディアデータを試聴することが可能となり、これにより端末機器の携帯性を確保することができる。しかも、その際折り畳み構造の開閉操作によりマルチメディア情報の表示モードが自動的に切り替わるので、ユーザは特別な表示切り替え操作を行う必要がない。また、第１の表示器に複数のメディアデータを常時表示する場合に比べ、消費電力を低減することができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
またこの発明では以下のような各種構成が考えられる。情報端末機器が通信ネットワークとの間で通信を行う通信手段を備えた移動通信端末の場合に、マルチメディア情報の再生中でかつ折り畳み構造が開いている状態において、第２の表示器に移動通信動作に関係する通信属性情報を表示させる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
さらに、マルチメディア情報の再生中に折り畳み構造が閉じられた場合に、第２の表示器における表示情報を通信属性情報から上記選択されたメディアデータに切り替えると共に上記通信属性情報の種別をメモリに保存する。そして、上記折り畳み構造が開かれた場合に、上記メモリに保存されている種別に応じて、上記第２の表示器における表示情報を上記選択されたメディアデータから上記通信属性情報に復帰させるように制御する。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
このように構成すると、マルチメディア情報の再生中において第２の表示器には、折り畳み構造が閉じられている状態では選択されたメディアデータが表示されるが、折り畳み構造が開いている状態では通信属性情報が表示される。このため、ユーザはマルチメディア情報の再生中においても、筐体を開くことで電波受信状態や電池残量等のピクト行情報や、日付や時刻の情報、発着信電話番号やアドレス情報を確認することが可能となる。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００１１】
さらに、マルチメディア情報の再生中でかつ折り畳み構造が閉じている状態において、上記選択されたメディアデータと、移動通信動作に関係する通信属性情報とを、第２の表示器にその表示エリアを分割してそれぞれ表示させるように制御する。
このように構成すると、筐体を閉じた状態において、選択されたメディアデータを視聴しながら通信属性情報を確認することができる。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
さらに、マルチメディア情報の再生中でかつ上記折り畳み構造が閉じている状態において、第２の表示器に前記選択されたメディアデータを表示しながらユーザによる表示切り替え指示の入力を監視し、表示切り替え指示が入力された場合に前記第２の表示器における表示情報を前記選択されたメディアデータから移動通信動作に関係する通信属性情報に一時的に切り替えるように制御する。
このように構成すると、第２の表示器にメディアデータが表示された状態においても、ユーザが表示切り替え指示を入力すると、第２の表示器にはメディアデータに代わって通信属性情報が一時的に表示される。このため、第２の表示器の表示エリアサイズが小さい場合でも表示サイズを制限することなくメディアデータを表示でき、かつ折り畳み構造を閉じたまま必要に応じて通信属性情報を表示させることが可能となる。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
さらに、第２の表示器に上記選択されたメディアデータを表示している状態で当該メディアデータの再生終了を監視し、メディアデータの再生が終了した場合に第２の表示器における表示情報を移動通信動作に関係する通信属性情報に復帰させるように制御する。
このように構成すると、第２の表示器を使用したメディアデータの再生が終了すると、第２の表示器への表示情報は自動的に通信属性情報に復帰する。このためユーザは、特別な確認操作を行うことなく、メディアデータの再生終了と同時に通信属性情報を確認できる。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
さらに、選択されたメディアデータを第１の表示器に対応する第１の表示フォーマットから第２の表示器に対応する第２の表示フォーマットに変換する変換手段を備え、折り畳み構造が閉じている状態では上記変換手段により第２の表示フォーマットに変換されたメディアデータを上記第２の表示器に表示させるように制御する。
このように構成すると、例えば第２の表示器の表示サイズや表示色が第１の表示器と異なる場合でも、メディアデータを第２の表示器に応じた最適なフォーマットで表示することができる。
【手続補正１４】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５９】
【発明の効果】
以上詳述したようにこの発明では、第１の筐体と第２の筐体とが接続機構で互いに折り畳み可能な折り畳み構造を持ち、上記折り畳み構造が閉じている状態では外部から見えなくなる位置にある第１の表示器と、上記折り畳み構造が閉じている状態でも外部から見える位置にある第２の表示器とを有する情報端末機器にあって、複数のメディアデータを含むマルチメディア情報を再生する再生手段と、この再生手段によるマルチメディア情報の再生中に、上記折り畳み構造が開いているか閉じているかを判定する開閉判定手段と、表示制御手段とを備える。そして、上記開閉判定手段の判定結果に基づいて、折り畳み構造が開いている状態では、再生されたマルチメディア情報の複数のメディアデータを第１の表示器に表示させ、一方折り畳み構造が閉じている状態では、再生されたマルチメディア情報の一部のメディアデータを選択して第２の表示器に表示させるようにしている。
従ってこの発明によれば、筐体開閉型の端末においてマルチメディア情報を再生する際の、消費電力の低減及び携帯性の向上を図った情報端末機器を提供することができる。